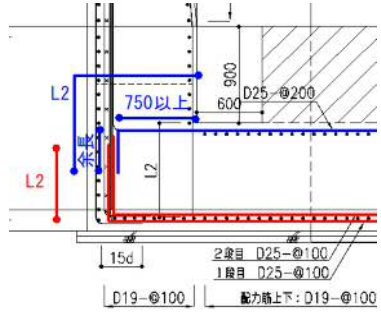


5. 見積用設計図書及び参考図面 構造 質疑書・回答書

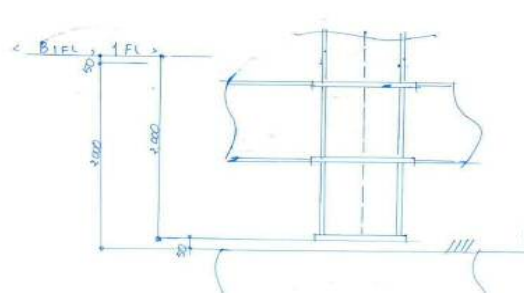
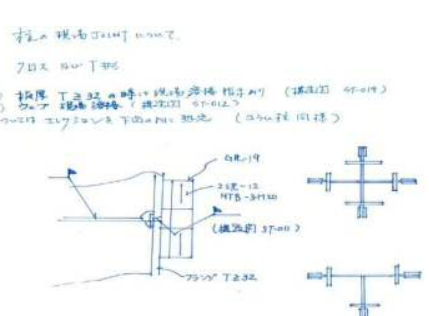
質疑番号	区分	図面番号	質 問	回 答
1	構造	ST-002	6章コンクリート工事、2節コンクリートの種類及び品質のマスコンクリートにおいて、底版のマスコンクリート範囲は擁壁底版のみとなっておりますが、施工上擁壁底版以外の底版もマスコンクリート範囲のコンクリートと同時打設になると思われる為、底版全てマスコンクリートと考えて宜しいでしょうか。 また、基礎階にピットがあり、ピット天井にスラブがありますが、上記と同じ理由によりスラブもマスコンクリートと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。ご指摘の『擁壁底版』は、『擁壁、底版』と読み替えるものとします。 また、ピット天井スラブについては、施工手順等をご判断の上、適宜見込んでください。
2	構造	ST-002	6章コンクリート工事、2節コンクリートの種類及び品質のマスコンクリートにおいて、マスコンクリート範囲に放射線室のEW150、S150A等が入っておりません。放射線室のEW150、S150A等もマスコンクリートと考えて宜しいでしょうか。	ST-003図6章13節6.13.1によります。
3	構造	—	コンクリートにおいて、共用期間の級は標準と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
4	構造	—	コンクリートにおいて、水セメント比が不明です。全て55%と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
5	構造	—	梁貫通スリーブにおいて、スリーブ径、箇所数等不明です。梁貫通スリーブ図または各数量を御提示願います。	下記の通り見込んでください。 ・RG、5G、4G: φ200×1500ヶ所 ・3G、2G: φ300×400ヶ所 ・1G: φ300×400ヶ所 ・B1G: φ300×200ヶ所
6	構造	S-009 S-028	B1階床伏図において、X4-X5通り、RY1-RY2通り間にFS100Aがありますが、耐圧スラブリストにはありません。FS100と同配筋と考えて宜しいでしょうか。	下記の通りとします。 ①S-028図耐圧スラブリストに記載のFS100は、FS100Aに読み替えとします。 ②FS100の断面は下記の通りとします。 上端筋:主筋D25-@200、配力筋D25-@200 下端筋:主筋D25-@100(二段)、配力筋D25-@200
7	構造	S-009 S-041	B1階床伏図において、Y13通りにEW30がありますが、壁リストにはありません。壁厚300、配筋はEW20に倣うと考えて宜しいでしょうか。	下記の通りとします。 EW30:壁厚300、縦筋横筋ともD16@150(ダブル)
8	構造	S-010 S-041	1階床伏図において、X5-X9通り、Y4a-Y77通り間にEW25がありますが、壁リストにはありません。壁厚250、配筋はEW20に倣うと考えて宜しいでしょうか。	下記の通りとします。 EW25:壁厚250、縦筋横筋ともD13@150(ダブル)
9	構造	S-010 S-011 S-041	放射線室1、2階床伏図において、RX4通り、Y13-RY1通り間にW20がありますが、壁リストにはありません。EW20と同断面と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
10	構造	S-010 ~ S-012	放射線室1~3階床伏図において、大梁天端レベルは特記を除きFL-50、小梁天端レベルは接するスラブの一番低いレベルのスラブ天端に小梁天端を合わせると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
11	構造	S-010 S-011 S-033	1、2階床伏図において、X5-X9通り、Y4、Y8通りにC2Aとありますが、柱符号 KEYPLANでは見当たりません。C2Aは必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
12	構造	S-011	2階床伏図において、建物外周大梁からW600程度の跳ね出しスラブがありますが、CS15と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
13	構造	S-011	2階床伏図において、X6a-X7通り、Y12-Y13通り間のスラブ天端は2FL-500と記載されていますが、凡例では2FL-350です。2FL-500を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
14	構造	S-012	3階床伏図において、X6a通、Y3a-4a間はGY3と記載がありますが、X6a通、Y3a-4通間はGY4とあり、明確な納まりが不明です。GY4は不要とし、X6a通、Y3a-4a間はGY3と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
15	構造	S-009 ~ S-015	各階床伏図において、小梁の天端レベルが不明です。RC小梁の場合は接するスラブの一番低いレベルのスラブ天端に小梁天端を合わせる、鉄骨小梁の場合は接するスラブの一番低いレベルのスラブ下端に小梁天端を合わせると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
16	構造	S-011	2階床伏図において、下記の通りに符号の無い大梁があります。 下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・X1-X2通、Y10通→GX1 ・X11-X13通、Y10通→GX1 ・X13通、Y10-Y12通→GY2	よろしいです。
17	構造	S-015 A-030	断面図(2)のC-C断面において、Y8-Y9通り間の室外機置場のRSLにスラブの記載がありますが、R階床伏図にはスラブは見当たりません。伏図及びスラブ符号を御指示ください。 また、R階床伏図のX4-X6通り、Y9-Y12通り間のリハビリティ庭園部にも同じような床配置が必要と思われます。この範囲も併せて伏図及びスラブ符号を御指示ください。	スラブ範囲は、A-026図によります。 室外機置場及びリハビリティ庭園ともに、上部の一般スラブはS20、片持ちスラブはCS20とします。
18	構造	S-028	耐圧スラブリストにおいて、耐圧スラブ全てに幅止筋D10@1000を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
19	構造	S-029	擁壁リスト(1)、Sec. Aにおいて、RW100の内側縦筋のピッチが200となっていますが、Sec. BのRW100の内側縦筋のピッチは100となっています。RW100の内側縦筋のピッチは100を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
20	構造	S-029 S-030	各擁壁リストにおいて、各擁壁底版の擁壁への定着長さがL2より長く見受けられます。各擁壁底版の擁壁への定着長さを御指示ください。	下記の通りとします。 
21	構造	S-028 S-029	擁壁リスト(1)、Sec. A、Bにおいて、CFS100の配力筋が上下共D19@100となっていますが、耐圧スラブリストでは上下共D19@200となっています。耐圧スラブリストの配筋を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
22	構造	S-028 S-029	擁壁リスト(1)、Sec. Aにおいて、FS100の配力筋が上下共D19@100となっていますが、耐圧スラブリストでは上D25@200、下D25@100(二段)となっています。耐圧スラブリストの配筋を正と考えて宜しいでしょうか。	上記回答(質疑6)に準じます。
23	構造	S-028 S-030	擁壁リスト(2)、Sec. Cにおいて、M2FLのFS70の配力筋が上下共D19@100となっていますが、耐圧スラブリストでは上下共D25@150となっています。耐圧スラブリストの配筋を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
24	構造	S-034 ST-001	柱リストにおいて、特記にスパイラルフープと記載がありますが、一般共通事項では溶接閉鎖型となっています。溶接閉鎖型を正と考えて宜しいでしょうか。 また、仕口内フープはSRC梁となる為、単筋+フープ溶接と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。 仕口部フープは、ST-015図(2)右下図によります。
25	構造	S-035	RC柱リストにおいて、一般部は溶接閉鎖型となっていますが、仕口部フープも溶接閉鎖型と考えて宜しいでしょうか。	RC柱仕口部は、H型とします。
26	構造	S-035	RC柱リストにおいて、補助フープは仕口内には不要と考えて宜しいでしょうか。 また、補助フープの形状は閉鎖型ではなく単筋と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	いずれもよろしいです。
27	構造	ST-001 S-036 ~ S-037	一般共通事項において、SRC部のスターラップは溶接閉鎖型と記載がありますが、SRC大梁リストには溶接閉鎖型の記載は見当たりません。SRC大梁のスターラップはフック付き形状として宜しいでしょうか。	溶接閉鎖型とします。
28	構造	S-039	RC大梁リスト(2)、2階GY23において、中央の上端筋の本数が断面図では10本、リストでは6本となっています。6本を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質疑番号	区分	図面番号	質 問	回 答
29	構造	S-041	スラブリストにおいて、どのスラブの型枠がデッキまたは在来か不明です。基礎部ビット天井は在来、B1床からは放射線室範囲スラブ、片持ちスラブ以外は全てデッキと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 ただし、EVビットスラブは在来型枠とします。
30	構造	S-041	スラブリストのデッキ許容スパン表において、許容スパンがスラブ厚150の～3.3、スラブ厚200の～3.1を超える場合は、支保工有りのt0.8と考えて宜しいでしょうか。	安全性・施工性・経済性を考慮の上、適宜ご判断下さい。
31	構造	S-041	スラブ納まり要領図のEVビットにおいて、DS25とありますがデッキ厚が不明です。デッキ厚1.2と考えて宜しいでしょうか。	上記回答(質疑29)に準じます。
32	構造	S-041	デッキスラブのデッキプレートにおいて、デッキプレートの仕様はH100、Z12と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
33	構造	A-031 S-009～ S-011 S-041	矩計図(1)において、X13通りの外壁がB1階はW150、2～3階はW180のRC壁となっていますが、B1～2階床伏図ではRC壁の指示がありません。また、壁リストにもW150、W180の壁はありません。RC壁は必要とし、W150、W180共配筋はタテヨコD13@200ダブル、開口補強筋タテヨコナメ共2-D13と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 ただし、W15は壁厚150、縦筋横筋ともD10@200(ダブルチドリ)とします。
34	構造	S-005	各基礎下地業において、地盤改良範囲の基礎下地業は砕石無しの捨てコンクリートのみと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
35	構造	S-010 A-174 S-041	放射線室1階床伏図において、RX1-RX2通り間のRY1、RY2通り壁がEW50とEW50Aとなっていますが、放射線防護図(4)では壁厚1500となっているので、EW150に読み替えて宜しいでしょうか。 また、EW150はリストではD25@200ダブル配筋となっていますが、内蔵鉄板部範囲には鋼板側面に追加でD25@200ダブル配筋を見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。
36	構造	T-003	4. 地業工事、防湿層において、最下階の床コンクリート下に防湿材を見込むとなっていますが、免震層床の耐圧盤下にも必要でしょうか。御指示ください。	不要とします。
37	構造	A-019 S-006	水槽部分平面図において、水槽床レベルB1FL-6350となっていますが、基礎伏図では耐圧スラブ下端レベルMB1FL-3500(B1FL-6600)となっており、耐圧盤厚が700の為、天端レベルはB1FL-5900となります。水槽床レベルは基礎伏図のレベルを正と考えて宜しいでしょうか。 また、水槽部分平面図の水槽床レベルが正の場合は、接する基礎梁や布基礎の深さも変更になります。水槽部分平面図の水槽床レベルが正の場合は変更後の深さも併せて御指示ください。	よろしいです。
38	構造	A-019 S-006	水槽部分平面図において、各スパンに壁となる基礎梁がなく、RC壁700厚にてビットが区切られています。基礎伏図では各スパンに基礎梁があり、基礎梁にてビットが区切られています。ビット形状は基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 また、水槽部分平面図のビット形状が正の場合は、基礎梁配置等も変更になります。変更後の基礎梁配置等も併せて御指示ください。	よろしいです。
39	構造	A-019 S-006	上項質疑において、基礎伏図のビット形状が正の場合は人通路、通気管、通水管等がビット間に必要と思われる。各々の配置、径、仕様を御指示ください。 また、マンホール(床点検口)の数量も人通路の箇所により平面図に記載されている数量から変更になると思われる。併せてマンホール(床点検口)の箇所も御指示ください。	各地中梁ごとに人通路：1ヶ所、通気管：φ150VP×2ヶ所、通水管：φ150半割×2ヶ所を見込んでください。 また、マンホールはA-019図を正とします。
40	構造	A-019 S-006	免震ビット平面図において、X7-X7b通り、Y3-Y3a通り間、X12-X13通り、Y3-Y4通り間にボイラーブロー槽と消火水槽がありますが、基礎伏図ではビットの指示がありません。ビット不要と考えて宜しいでしょうか。 また、ビットが必要な場合は耐圧板符号、深さ及びビット隔壁梁の詳細を御指示ください。	よろしいです。ビットの概要は下記の通りとします。 ビット深さ：B1F-1,400 ビット(水槽)底版符号はS25 ビット(水槽)天版スラブ符号はS20 ビットは、ボイラーブロー槽においてはGX2、GX5、GY4、消火水槽においてはGX4、GY3、W25に囲まれた範囲とします。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
41	構造	ST-015	鉄骨鉄筋コンクリート造標準図、耐力壁・土圧壁の鉄筋納まりにおいて、①～⑤までタイプがありますが、①～③のタイプを適用するとし、ジョイント筋やスタッドは不要と考えて宜しいでしょうか。	必要に応じて④、⑤も採用します。適宜見込んでください。
42	構造	—	各階雑立上り(パラペット、腰壁、鳩小屋等)において、コンクリート強度及びスランブは、雑立上りがある階のコンクリート強度及びスランブに合わせると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
43	構造	—	各階雑立上り(パラペット、腰壁、鳩小屋等)において、配筋が不明です。全てタテヨコD10@200ダブルと考えると宜しいでしょうか。	下記の通りとします。 ①本体 腰壁、垂れ壁:t180、D13@200タテヨコダブル パラペット::t180、D10@200タテヨコダブル、端部2-D13 ②院内保育所 腰壁:t150、縦筋D10@200ダブル、横筋D10@200チドリ、端部2-D13 パラペット:t180、D10@200タテヨコダブル、端部2-D13 ③ハト小屋はA-153図参照の上、下記の通りとします。 屋根:t150、短辺D13@200ダブル、長辺D10@200ダブル、端部2-D13、交差部4-D13 壁:t180、縦筋D13@200ダブル、横筋D10@200ダブル
44	構造	S-043	雑詳細図、片持ち床版(一般部)において、PL-3. 2とありますが、PL-1. 6に読み替えて宜しいでしょうか。	設計図書通りとします。 ただし、実施設計にて協議調整とします。
45	構造	ST-001 ST-002	一般共通事項のコンクリート強度において、擁壁がFc30となっておりますが、構造関係特記仕様書ではFc36となっております。Fc36を正と考えると宜しいでしょうか。	Fc30を正とします。 ただし、擁壁底版は基礎と同じFc36とします。
46	構造	S-029 S-030 A-031 A-032	擁壁リストにおいて、擁壁底版の天端がFL-900となっておりますが、矩計図ではFL±0となっております。擁壁リストの天端レベルFL-900を正と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
47	構造	A-020	B1階平面図において、X6通り、Y11通りにステージとありますが床の詳細が不明です。片持ちスラブCS20を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
48	構造	A-202	ヘリポート鉄骨部材リストの柱脚詳細図において、柱脚基礎の強度はFc30となっておりますがスランブが不明です。S18と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
49	構造	A-031	B1FL、X13通りに免震ブリッジがあり、擁壁外側に土間スラブがありますが構造伏図には記載がなく詳細が不明です。スラブ厚150、配筋D10@200ダブルクロス、地業砕石150、Fc21 S15、185kg/m <sup>3</sup> 、水セメント比55%と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
50	構造	A-032	矩計図(2)において、M2FLにスラブ増打ち50～100と記載がありますが、ワイヤーメッシュφ6-150×150程度を見込んで宜しいでしょうか。	ワイヤーメッシュφ6-100×100とします。
51	構造	A-031 S-043	矩計図(1)において、屋上に目隠し壁基礎がありますが配筋が不明です。雑詳細図の設備機器基礎配筋図のタイプCに倣って宜しいでしょうか。	よろしいです。
52	構造	A-029	B-B断面図において、屋上に設備機器置場の柱脚に基礎がありますが配筋が不明です。雑詳細図の設備機器基礎配筋図のタイプCに倣って宜しいでしょうか。	よろしいです。
53	構造	S-043	雑詳細図の設備機器基礎配筋図において、タイプAが目荒しがありますが、タイプB、タイプCにはありません。全ての設備基礎に目荒しを見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
54	構造	S-034	SRC柱リストにおいて、SH鋼材で規格にないサイズの部材はBH材と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
55	構造	S-034	SRC柱リストにおいて、組立柱の場合、Y方向部材をBT材と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
56	構造	ST-014 S-034	SRC柱のJOINTにおいて、フランジ厚32が鉄骨構造標準図に見当たりません。フランジ厚32はフランジ厚28に倣うと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
57	構造	ST-014 S-034	SRC組立柱のJOINTにおいて、フランジはスプライスPL接合、ウェブは現場溶接と考えて宜しいでしょうか。また、SRC柱C3、C3A柱はフランジ、ウェブ共、スプライスPL接合と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	t=28を超える場合は溶接接合とします。
58	構造	S-011	2階床伏図において、Y10通-X1~X2間、Y10通-X11~X13間の大梁に梁符号が見当たりませんが、GX1と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
59	構造	S-016~ S-023	軸組図(1)~(8)において、4階以上の大梁は端部にジョイントの特記がない限り、ノンブラケット工法とする。と記載がありますが、軸組図のない通りに関しては、軸組図のある通りの対称と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
60	構造	A-032	矩計図(2)において、1FL+3700、Y1通-1600に本体付きの底が見受けられますが、構造図に見当たりません。施工範囲及び、リスト、RC取合等詳細を御指示下さい。	施工範囲は洗体室から風除室4の前面W11000、風除室1・2の前面W9000とします。部材は下記を見込んでください。 主材:H-150×75×5.5×9.5@900 先端繋ぎ材:H-250×125×7.5×12.5 GPL-6、HTB2-B16 BPL-16、A.bolt2-M20(SS400)、L=400、DNフック付き
61	構造	S-040	補剛材要領図において、TYPE Bの適用範囲が見当たりません。TYPE Bの適用範囲を御指示下さい。	該当箇所はありません。
62	構造	A-004	仕上表(1)耐火被覆において、B1~1階の鉄骨部についての記載がありませんが、B1~1階鉄骨(S造小梁)に耐火被覆は必要と考えて宜しいでしょうか。またその場合、ロックウール吹付 t=45 2時間と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
63	構造	A-004	仕上表(1)耐火被覆において、屋上外部設備置場が柱、梁共耐火塗料(1時間耐火)となつていますが、溶融亜鉛メッキの上、耐火塗料(1時間耐火)をするのでしょうか。溶融亜鉛メッキ仕上のままでしょうか。	耐火塗料の該当箇所はありません。
64	構造	A-004	上記質疑において、溶融亜鉛メッキの上、耐火塗料(1時間耐火)の場合、屋上外部設備置場に施工する目隠し下地鉄骨、ヘリポート、ヘリポート下部機械架台等全ての鉄骨において溶融亜鉛メッキの上、耐火塗料と考えて宜しいでしょうか。	上記回答(質疑63)に準じます。
65	構造	-	外壁胴縁、開口補強等必要でしょうか。必要な場合、範囲、詳細を御指示下さい。	必要です。適宜見込んでください。
66	構造	A-200 A-202	ヘリポート鉄骨伏図、ヘリポート鉄骨部材リスト、において、G2大梁の材質がSN400Bと、SN490Bの記載があります。G2大梁はSN400Bと考えて宜しいでしょうか。	SN490Bとします。
67	構造	A-202	小梁DB1の継手はGPL-9、4-M20と考えて宜しいでしょうか。	GPL-12、H.T.B4-M20とします。
68	構造	A-152	部分詳細図(7)において、設備架台用鋼材は設備工事、アンカーボルトは建築工事とありますが、アンカーボルトの径、L寸法、か所数が不明です。御指示下さい。	接合部1ヶ所あたり、A.Bolt4-M20(SS400)、L=400を見込んでください。
69	構造	T-003	建築工事特記仕様書(1)7鉄骨工事①耐火被覆において、耐火板張り、耐火材巻き付けが図示とありますが、施工範囲が不明です。今回工事は適用無しと考えて宜しいでしょうか。	耐火板は病棟妻面ECP下地とし、耐火材巻き付けの該当箇所はありません。
70	構造	S-012 S-014 S-015	3、5、R階伏図において、室外機置場目隠し、屋外機置場目隠し、リハビリ庭園目隠しの記載がありますが、柱、梁の割付、リスト等詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	下記の通り見込んでください。 ①室外機目隠し ・柱:H-200×200×8×12(SS400)@3000 ・耐風梁:H-150×150×7×15(SS400) ・鉛直ブレース1-M20(JISブレース) ②屋外機置場目隠し、リハビリ庭園目隠し ・柱:下階柱と同材料・同断面 柱スパン間にH-400×400×13×21(SN400B)@3000 ・大梁:SH-700×300×12×25(SN490B) ・片持ち梁:H-400×400×13×21(SN400B) ・小梁:H-400×200×7×15(SS400) ・控え柱:φ165.2×6(STK400)

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
71	構造	S-015	R階伏図において、設備架台範囲RSL+2000に網掛の記載がありますが、柱、梁の割付、ファインフロア下地鉄骨設置要領、リスト等詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	下記の通り見込んでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>柱:H-200×200×8×12(SS400)@6000</li> <li>梁:H-500×200×10×16(SS400)</li> <li>方杖:2L-75×75×9(SS400)</li> <li>ファインフロア受け:2L-75×75×6(SS400)@1200</li> </ul>
72	構造	S-015	R階伏図において、設備架台範囲RSL+2000に網掛の記載がありますが、架台に上がる小階段が必要と思われる。必要か所数、詳細を御指示下さい。	寸法及び箇所数は、意匠質疑回答によります。
73	構造	ST-003	7.2.1 鋼材 鋼材は原則として高炉材を使用する。とありますが、小梁・間柱・耐風梁等の二次部材については電炉材使用可としてもよろしいでしょうか。	原則高炉材とします。 ただし、実施設計にて協議調整とします。
74	構造	S-036 S-037	SRC部のG梁が全断面SN490Bとなっていますが、端部SN490B、中央SM490Aとしても宜しいでしょうか。	設計図書通りとします。 ただし、実施設計にて協議調整とします。
75	構造	-	SRC鉄骨梁、S鉄骨梁貫通スリーブにおいて、スリーブ径、箇所数等不明です。梁貫通スリーブ図または各数量を御提示願います。	上記回答(質疑5)に準じます。
76	構造	S-031	免震上部柱の鉄骨ベースレベルについて、記載がありません。下記のとおりと考えて宜しいでしょうか。 	よろしいです。(構造図S-035/SRC柱柱脚納まり要領図参照)
77	構造	ST-011、 ST-012、 ST-014	柱の現場接手部について、記載がありません。下記のとおりと考えて宜しいでしょうか。 	よろしいです。
78	構造	S-043	デッキ受け(SRC造部)について、詳細を御指示下さい。	適宜見込んでください。
79	構造	S-010～ 024	梁符号について、軸組図で未記載の部材があります。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

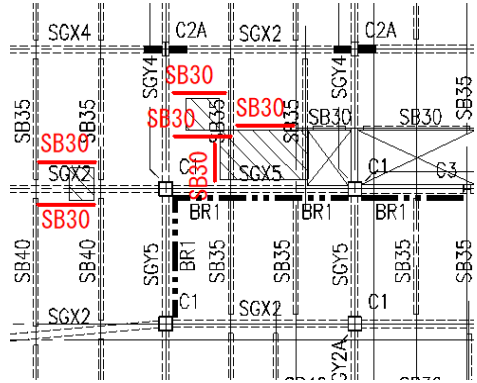
質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
80	構造	S-015 S-042	鉛直ブレース符号について、R階伏図に鉛直ブレース(BR3)と記載がありますが、リストには記載がありません。下記のとおりを考えて宜しいでしょうか。 符号:BR3 部材:□-200x200x12(STKR400) G.PL:PL-19 R.PL::PL-19x200 2S.PL:PL-19x80x450 HTB:3-M22 交差部:2[-200x80x7.5x11 G.PL-19 HTB:12-M22	下記の通りとします。 BR3:2L-75×75×12(SS400)、H.T.B 7-M16、GPL-12
				
81	構造	S-010～ S-024	梁の鉄骨天端レベルについて、軸組図の梁天端レベルは同じですが、伏図では梁上にスラブ段差がある為、梁の鉄骨天端レベルを変える必要があり、軸組図と伏図で相違があります。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
82	構造	A-043 S-015	ハト小屋鉄骨において、鉄骨下地が必要でしたら詳細を御指示下さい。	実施設計にて詳細検討の上、決定します。
83	構造	S-016 S-019 S-020～ S-022 S-042	鉛直ブレースの柱付仕口部について、軸組図では大梁に接手指示がありませんが、ブレース接手要領ではブラケットタイプになっており、軸組図とブレース接手要領で相違があります。ブレース接手要領を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
84	構造	A-177 ～ A-189	昇降機詳細図において、柱脚詳細が見当たりません。以下の支柱柱脚詳細を御指示下さい。 ・H-100×100 ・H-150×150 ・H-175×175 ・H-200×200 ・H-250×250	以下の通りとします。 ・H-250×250×9×14 ベースプレート:PL-19×300×300 アンカーボルト:4-M20 L400 継手:GPL-12、HTB 3-M20 ・H-200×200×8×12 ベースプレート:PL-19×250×250 アンカーボルト:4-M20 L400 継手:GPL-9、HTB 3-M20 ・H-175×175×7.5×11 ベースプレート:PL-16×225×225 アンカーボルト:4-M20 L400 継手:GPL-9、HTB 2-M20 ・H-150×150×7×10 ベースプレート:PL-16×200×200 アンカーボルト:4-M20 L400 継手:GPL-9、HTB 2-M20 ・H-100×100×6×8 ベースプレート:PL-16×150×150 アンカーボルト:4-M20 L400 継手:GPL-9、HTB 2-M20
85	構造	A-192	ヘリポート平面図1のヘリポート工事仕上表にヘリポート鉄骨が建築工事とありますが、ヘリポート鉄骨の見積区分が不明です。ヘリポート鉄骨は、(様式6-5)VE提案採用後概算工事費見積内訳書のI-1. 建築工事の7. 鉄骨工事に含むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
86	構造	ST-016 S-029	免震構造特記仕様書(1)にケガキ板の寸法の記載がありますが、ケガキ板の寸法(L)は、「設計クリアランスの2倍」となっております。設計クリアランス値(水平方向)は1750mmですので、「3500mm」の板サイズとなります。また、擁壁リストを確認すると、躯体と擁壁間は「1800mm」になっております。ケガキ板サイズは「1800mm」と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。ただし、ケガキ板等の詳細は実施設計において検証の上、決定します。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
87	構造	S-034	SRC部 十字柱:HY-600x250x12x32は製造サイズにありません。 HY-600x250x16x32と読み替えてよろしいでしょうか。	BH-600×250×12×32に読み替えとします。
88	構造	S-101	院内保育所において、スランプが不明です。基礎S15、地上S18と考えると宜しいでしょうか。 また、単位水量及び水セメント比は単位水量185kg/m <sup>3</sup> 、水セメント比55%と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	全てよろしいです。
89	構造	S-101	院内保育所のスラブリストにおいて、DS15のデッキ仕様が不明です。フラットデッキt1.0 H75 Z12と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
90	構造	A-302	院内保育所ピット平面図において、人通孔及び通気管、通水管が見当たりません。床下点検口が1箇所、各ピット隔壁に人通孔1箇所、通気管通水管各2箇所を見込んで宜しいでしょうか。 また、各仕様は人通φ600、通気管VP管φ100、通水管VP管φ150半割と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。
91	構造	S-101 ST-002	上項質疑において、人通孔に対し補強が必要と思われませんが、人通孔補強要領では在来補強となっていますが、構造関係特記仕様書では既製品による補強となっております。既製品による補強を正と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
92	構造	A-302 S-043	R階平面図において、室外機置場に基礎がありますが、配筋は雑詳細図のタイプBを適用して宜しいでしょうか。	よろしいです。
93	構造	—	院内保育所において、梁貫通スリーブのスリーブ径、箇所数等不明です。梁貫通スリーブ図または各数量を御提示願います。	φ150×10ヶ所を見込んでください。
94	構造	A-304	矩計図において、hY4通りから左側に土間コンクリートがありますが、基礎伏図では見当たりません。スラブ厚200、配筋D10@200ダブルクロス、地業砕石150、Fc21 S15、185kg/m <sup>3</sup> 、水セメント比55%と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。ただし、コンクリート厚さ150、砕石厚さ60とします。
95	構造	A-307	玄関キャノピー詳細図において、基礎詳細、RC被覆柱、コンクリート強度及びスランプ等の構造詳細が不明です。各詳細及び仕様を御指示ください。	下記の通り見込んでください。 基礎(1柱あたり):500×2000×4000 Fc24、S15
96	構造	A-307	玄関キャノピー詳細図において、鉄骨部材リスト、柱梁架構等詳細を御指示下さい。	下記の通り見込んでください。 柱:φ318.5×10.3(STKN490) 大梁・片持ち梁:H-500×200×10×16(SN400B) 小梁:H-300×150×6.5×9(SS400) 母屋:C-100×50×20×2.3@900(SSC400) 下地鉄骨:L-75×75×6
97	構造	基本説明 S10	液状化判定のFL値が非常に小さいのですが、正しい結果でしょうか。そうでない場合は正しい数値をお教え下さい。	別添資料(液状化判定データシート)を正とします。
98	構造	基説技術 S06	スイッチング試験において、マスを200kineで衝突させるとありますが、SSBの連結板に対する相対速度が200kine以上という理解でよろしいですか。	よろしいです。
99	構造	基説技術 S06	円軌道・楕円軌道加振は、PSBをどの程度変位させる必要があるかご教示ください。	今後の提案や協議によります。基本的にはSSB+PSBの一体的な免震システムの二方向挙動や、ストッパー接触時にスライダーが接線方向に運動している場合のSSBからPSBへのスイッチングなどの挙動確認を目的としています。
100	構造	基説技術 S06	試験要件を満たせるか否かに大きく影響するため、SSBおよびPSBの摩擦係数の想定ばらつき範囲を開示してください。	SSBは、 $\mu 1=0.033\sim 0.067$ 、PSBは、 $\mu 2=0.10\sim 0.20$ の範囲内を目標とします。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
101	構造	基図S032 基本説明S30 基説技術S02	基本設計図(構造図)S032にSSBの限界変形950mmと記載がありますが、基本設計説明書のS30にレベル3、レベル4時のSSBの変位850mmと記載があり、基本設計説明書(技術資料変)S02にもSSBの限界変形850mmと記載があります。構造図記載の限界変形950mmで想定することによろしいでしょうか。	よろしいです。SSBの限界変形は、実施設計における詳細検討で決定します。
102	構造	ST-003	地震観測装置 ・下記の事項をご指示願います。 イ) 装置設置業者 ロ) 観測装置設置の具体的位置 ハ) 装置の電源 ・太陽電池を転用するのでしたら、太陽電池の設置位置をご指示ください。 ・100V電源等が別途必要でしたら電気工事に見込みます。 ニ) 装置のデータ保存又は送信方法 ・内臓のメモリにデータ保存するのでしょうか。ご指示ください。	下記の通りです。 イ) 応用地震計測株式会社 ロ) X13-Y13通り付近 ハ) 太陽光パネル ニ) 外付けUSBに保存 ただし、詳細は実施設計において検証の上、決定します。
103	構造	ST-016	免震ケガキ板 ・数量:7か所と記載がありますが、場所は2か所(X6-Y2,X6-Y13)となっています。残りの場所をご指示ください。	病院棟外周部四隅と中央部1か所とします。
104	構造	S-018他	・C2A柱に十分な強度の支保工を設置する様に指示がありますが、支保工に掛かる重量をご指示ください。	長期軸力6000kNを想定して下さい。安全率を考慮し支保工の設定をお願いします。
105	構造	A-019 A-029 S-009	・A-019図でB1F消火水槽、ボイラーブロー槽に該当する水槽が躯体図では見当たりませんので躯体の仕様をご指示ください。	上記回答(質疑40)に準じます。
106	構造	基本設計説明書S29	本計画の免震システムにおいては「既往の免震で対応することは困難と考えられます。・・・本計画で採用する免震材料は・・・球面すべり支承とピラフコンとSUS板で構成された滑動基礎を上下に組み合わせた多段すべり支承とします」と見解が示されており、メーカーも指定されております。現状では貴市が示される免震材料の組み合わせのみが、最適と判断されますが、この場合、見積徴収可能な協力業者が1社と限られること、また、既に特定の元請業者と技術協力体制を整えている場合、見積を依頼しても徴収できない可能性や金額が高止まりする懸念が生じますが、この点における貴市の見解をお示し下さい。	本計画の免震システムの設計開発に現段階で関与している者は、設計者及び開発者(日鉄エンジニアリング株式会社、日本ビラー工業株式会社)です。 各社は本免震システムの実現に向けて協業しており、その実現を阻害するような行為はないと考えます。
107	構造	基本設計説明書S29	設計クリアランス1800mmの確保が求められておりますが、現状では「これ程のクリアランスを達成した実績は国内で無い」との報告を各協力業者から得ております。この様な状況において、協力業者から見積書が徴収できない場合が想定されますが、この場合の貴市の見解をお示し下さい。	関連各メーカーは、本システム実現に向けて協業しています。また、その詳細は実施設計において協議・調整します。 基本設計で示された同等の性能・品質確保に必要な費用を見込んでください。
108	構造	ST-001 S-028 S-035	(構造) 一般共通事項において、一般定着又はプレート定着と記載がありますが、何れを適用するか不明です。基礎梁リスト(3)・耐圧スラブリストのWC部配筋要領より柱CW1及びCW2の柱頭のみプレート定着を使用すると考えて宜しいですか。	よろしいです。
109	構造	ST-002	柱主筋及び梁主筋の継手工法について、一般共通事項と構造特記仕様書で下記の様に相違があります。地中大梁主筋D38のみ機械式継手とし、その他はガス圧接と考えて宜しいですか。 ・一般共通事項:ガス圧接 ・構造特記仕様書:ガス圧接と機械式継手両方に適用印あり	よろしいです。また、その他、品質、施工性及び経済性の向上が見込まれる箇所においては、構造安全性に問題がない範囲において、機械式継手の採用も可とします。
110	構造	ST-002	マスコンクリートの適用範囲について、擁壁底版と記載がありますが、擁壁底版のみではなく、その他底版にも適用すると考えて宜しいですか。	よろしいです。上記回答(質疑1)に準じます。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
111	構造	ST-002 ST-003	マスコンクリートのコンクリート種別及びスランブ値が、構造特記仕様書(1)6章コンクリート工事と構造特記仕様書(2)13節マスコンクリートで下記の様に相違があります。構造特記仕様書(2)13節マスコンクリートを正と考えて宜しいですか。 ・構造特記仕様書(2)13節マスコンクリート 中庸熱ボルトランドセメント、スランブ値15cm ・構造特記仕様書(1)6章コンクリート工事 普通コンクリート、スランブ値18	よろしいです。
112	構造	ST-002 S-034～ 035	柱HOOPの加工方法について、構造特記仕様書ではH型と溶接閉鎖型に適用印があり、柱リストでは、SRC柱はスパイラルフープ、RC柱は溶接閉鎖型と相違があります。一般部は溶接閉鎖型、仕口及び中子・補助HOOPはタガ型と考えて宜しいですか。	上記回答(質疑24)に準じます。
113	構造	ST-001 S-036～ 039 S-041	一般共通事項において、スターラップは溶接閉鎖型と記載がありますが、地中梁・大梁・小梁のリストに溶接閉鎖型の記載がなく相違があります。地中梁・大梁・小梁のスターラップはタガ型と考えて宜しいですか。	上部構造(SRC造、RC造)の柱フープ、大梁スターラップは溶接閉鎖型とします。 下部(基礎)構造(RC造)の基礎梁・大梁・小梁スターラップはH型とします。
114	構造	ST-003	高性能AE減水剤使用について、構造特記仕様書に単位水量の上限値を守れない場合とありますが、こちらでは判断できませんので、積算上は躯体コンクリート全てに必要と考えて宜しいですか。	積算上は、呼び強度30N/mm <sup>2</sup> を超えるコンクリートに見込むものとします。
115	構造	ST-003	擁壁に使用する防水材の仕様を御指示ください。	天然無機質シリカ系防水混和材とします。
116	構造	S-006 A-019	ピット平面図において、水槽の範囲及び深さ、地中梁・ピット隔て壁の有無が意匠図と構造図で相違があります。構造図を正と考えて宜しいですか。また、意匠を正とした場合は、意匠図と整合性の取れた構造伏図とピット隔て壁のリストを御提示ください。	よろしいです。
117	構造	-	上記、構造図を正とした場合、人通孔・通水管・通気管の有無が不明です。必要な場合は、各々の数量・断面寸法を御指示下さい。	上記回答(質疑39)に準じます。
118	構造	S-009 A-019	免震ピット平面図において、消化水槽とボイラーブロー槽の記載がありますが、構造伏図に記載がありません。意匠図を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
119	構造	-	上記質疑を正とした場合、ピットの構造詳細が不明です。下記と考えて宜しいですか。 ①ピット深さ: B1F-1, 300 ②ピット底版: S20、底型枠は在来型枠 ③ピット天井: S20、底型枠は在来型枠 ④ピット廻り壁: W20(S-041のESCピットのW20と同等)	上記回答(質疑29、40)に準じます。
120	構造	S-035	RC柱リストC21(1階)において、中子筋が下記の様に相違があります。補助フープを正と考えて宜しいですか。 ・断面: 縦横3本共、補助フープD10@300 ・リスト: 縦横共、5-D13@100	RC柱リスト内の『フープ』欄に記載の内容を正とします。 例: 1C21:5-D13-@100(XY共)を正とします。
121	構造	S-035	上記、C22～C25も同様に相違があります。補助フープを正と考えて宜しいですか。	上記回答(質疑120)に準じます。
122	構造	S-009 ～ S-015 S-041	放射線室を除く各階のスラブの型枠について、下記と考えて宜しいですか。 ①B1階床からPHR階のスラブはフラットデッキ ②B1階床からPHR階の外周片持ちスラブは在来型枠 ③1階～3階X13通りのWBA、CGA、CBAに囲まれているスラブは在来型枠 ④EVピット・ESCピットのDS25、DS20Aはフラットデッキ	上記回答(質疑29)に準じます。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
123	構造	-	SRC大梁に取り付くデッキのかかり代分として、梁側面増し打ちT30が必要と考えて宜しいですか。	<p>下図に準じます。</p> <p>(2) 鉄筋コンクリート造 (RC造) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)</p>
124	構造	S-009	B1階床伏図・M1ピット階床伏図において、X13通りの片持ちスラブの符号が不明です。CS20と考えて宜しいですか。	よろしいです。
125	構造	S-009	B1階床伏図・M1ピット階床伏図において、W15及びEW30の記載がありますが、リストが不明です。御指示下さい。	上記回答(質疑7)に準じます。 また、W15は下記の通りとします。 W15: 壁厚150、縦筋横筋ともD10@200(ダブルチドリ)
126	構造	S-009	B1階床伏図・M1ピット階床伏図において、放射線室にFS100Aの記載がありますが、リストが不明です。FS100に読み替えて宜しいですか。	上記回答(質疑6)に準じます。
127	構造	A-020 S-009	B1FのRC壁範囲が構造伏図と意匠平面図で異なります。意匠平面図を正と考えて宜しいですか。	構造図S-009図を正とします。ただし、X8フレーム及びX10フレームの、Y2-Y3通り間は意匠図A-020図を正とします。
128	構造	A-031 S-009	矩計図(1)において、X13通りに免震ブリッジの記載がありますが、構造伏図に記載がありません。CS30が必要と考えて宜しいですか。	ご指摘の免震ブリッジは構造躯体ではないため、構造図には記載しておらず、CS30は不要とします。
129	構造	A-031 A-032	矩計図において、免震ブリッジ下部に片持ちスラブの記載がありますが、構造伏図に記載がありません。免震ブリッジの範囲にCS20が必要と考えて宜しいですか。	免震ブリッジ下部のコンクリートは、土間コンクリートとし厚さ150mm、D13@200シングルを見込んでください。
130	構造	S-009 S-016	M1ピット階床伏図の特記事項において、M1FL=1FL-3, 000、M1FL=B1FL+2, 000と記載がありますが、軸組図ではM1FL=1FL-3, 300、M1FL=B1FL+1, 700と相違があります。軸組図を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
131	構造	S-029	擁壁リストにおいて、Sec. AとSec. BでRW100の配筋が異なります。Sec. Aを正と考えて宜しいですか。	Sec.Bを正とします。
132	構造	-	上記質疑について、両方を適用する場合、各々の明確な適用範囲が不明です。御指示下さい。	上記回答(質疑131)に準じます。
133	構造	-	本体及び院内保育所棟の腰壁及びその他地上立上り壁・パラペット・ハト小屋のリストが不明です。御指示下さい。	上記回答(質疑43)に準じます。
134	構造	ST-003	鉄骨部材の錆び止め塗装の仕様について、下記のように考えて宜しいですか。 ①屋内: JIS K5674 工場2回塗り	よろしいです。 ただし、鉄骨現し部は溶融亜鉛メッキ(HDZ55)とします。
135	構造	S-034	B1階 鉄骨柱C3Aについて、断面図にはH形鋼の図示がありますが、リストには記載がありません。H-300×300×10×15と考えて宜しいですか。	よろしいです。
136	構造	S-009	B1階床伏図 X8~X9通り/Y5~Y6通り間にSB25の記載がありますが、部材リストが不明です。H-250×125×6×9(SS400)と考えて宜しいですか。	SB30に読み替えるものとします。
137	構造	S-010	1階床伏図 X6通り/Y3a~Y4a通り及びY7~Y8a通り間にGY5の記載がありますが、部材リストが不明です。SH-650×300×12×25(SN490B)と考えて宜しいですか。	下記の通りとします。 RC梁: B×D=600×1000 主筋(上下端): 5-D25 スターラップ 2-D13-@200とする。
138	構造	S-011	2階床伏図 下記大梁について、符号が不明です。GX1と考えて宜しいですか。 ①X1~X3通り/Y10通り ②X11~X13通り/Y10通り	①②ともによろしいです。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
139	構造	S-010～S-015	各階伏図 大梁及び小梁端部に黒線の図示がありますが、図示内容が不明です。S-040の補剛材が取付く梁と考えると正しいですか。	当該箇所は小梁端部剛接合を示します。
140	構造	S-011	2階床伏図 X3～X8通り/Y12～Y13通り間及びX10～X11通り/Y12～Y13通り間に梁符号のみの記載がありますが、図示がありません。該当の梁が必要と考えると正しいですか。	よろしいです。
141	構造	S-019 S-020	Y4a通り軸組図及びX7a～X7b通り軸組図のR階に鉛直ブレースBR3の記載がありますが、部材リストが不明です。下記のように考えると正しいですか。 ①BR3:□-250×250×9(STKR400) ②GPL:PL-16 ③2S. PL:PL-12×90×450 ④HTB:3-M22	上記回答(質疑80)準じます。
142	構造	S-012～014	3階～5階床伏図について、ユニットバス床段差(FL-200)廻りに小梁の図示がありませんが、小梁は不要と考えると正しいですか。必要である場合、小梁の部材詳細(断面、継手など)及び部材配置を御指示下さい。	下記の通り、段差部にSB30を見込んでください。 
143	構造	S-016～023	軸組図について、間柱、耐風梁の図示がありませんが、外壁ECP下地は不要と考えると正しいですか。必要である場合、間柱及び耐風梁の部材詳細(断面、継手など)及び部材配置を御指示下さい。	間柱、耐風梁、開口補強等の雑鉄骨は、対象壁面積当たりで60kg/m <sup>2</sup> を見込んでください。
144	構造	A-032	矩計図について、Y1通りの1階に底の図示がありますが、下地鉄骨の詳細が不明です。下地鉄骨の部材詳細(断面、継手など)及び部材配置を御指示下さい。	上記回答(質疑60)に準じます。
145	構造	A-032	前記質疑について、Y1通り1階底の設置範囲を御指示下さい。	上記回答(質疑60)に準じます。
146	構造	S-012 S-014 S-015	3階～R階伏図について、目隠し壁の図示がありますが、下地鉄骨の詳細が不明です。下記の日隠し壁下地鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。 ①3階室外機置場目隠し壁下地鉄骨 ②5階屋外機置場目隠し壁下地鉄骨 ③リハビリテーション目隠し壁下地鉄骨 ④屋上機械置場目隠し壁下地鉄骨	上記回答(質疑70)に準じます。
147	構造	A-027 A-028	立面図について、アルミルーバーの図示がありますが、下地鉄骨の詳細が不明です。下記の日隠し壁下地鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。 ①階段目隠しアルミルーバー下地鉄骨 ②室外機置場・空調機械室目隠しアルミルーバー下地鉄骨 ③地下駐車場アルミルーバー下地鉄骨	下記の通り見込んでください。 間柱:H-148×100×6×9@2700 横胴縁:C-100×50×20×3.2@900(SSC400)
148	構造	S-015	R階伏図について、設備架台の図示がありますが、下地鉄骨の詳細が不明です。屋上設備架台鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。	上記回答(質疑71)に準じます。
149	構造	A-012 A-022	仕上表について、SPD倉庫の備考に一部鉄骨床組と記載がありますが、床組鉄骨の詳細が不明です。SPD倉庫床組鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。	下記の通り見込んでください。 柱:□-200×200×6(STKR400) 梁:H-250×125×6×9(SS400) 床:ファインフロア、高さ=FL+2200
150	構造	A-046	地階建具表について、カーテンウォールの図示がありますが、下地鉄骨の詳細が不明です。カーテンウォール下地鉄骨の部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。	メーカー仕様によります。適宜お見込み下さい。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
151	構造	A-036	階段詳細図について、屋外階段共通の図示がありますが、構造図に記載が無いため鉄骨階段詳細が不明です。屋外鉄骨階段の部材詳細(ササラ、踏板、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。	S-044図KD1～4に準じます。
152	構造	S-044	前記質疑について、屋外階段受け鉄骨の詳細が不明です。屋外階段受け鉄骨は下記のように屋内鉄骨階段受けに倣うと考えて宜しいですか。 ①間柱:H-150×150×7×10 ②受け梁:H-250×125×6×9	よろしいです。 ただし、受け梁を支持する柱は、S-012～014図によります。
153	構造	A-155	部分詳細図について、階段(屋上室外機置場)の図示がありますが、寸法など詳細が不明です。屋上設備架台鉄骨階段の下記について御指示下さい。 ①階段の寸法 ②設置箇所数	上記回答(質疑72)に準じます。
154	構造	A-022 A-025 A-145	2階、5階、PH階において、鉄骨小階段の図示がありますが、鉄骨階段の部材詳細が不明です。下記の鉄骨小階段の部材詳細(ササラ、踏板、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。 ①2階屋外機置場鉄骨小階段 ②5階屋外機置場鉄骨小階段 ③屋上EVホール前外部鉄骨小階段 ④屋上EVホール前内部鉄骨小階段 ⑤PH階階段室鉄骨小階段	実施設計にて協議調整とします。
155	構造	A-138	2階雑金物伏図について、SPD倉庫前に点線で階段の図示がありますが、別途工事と考えて宜しいですか。本工事である場合、SPD倉庫鉄骨階段の部材詳細(ササラ、踏板、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。	本工事とし、構造図S-044図に準じます。
156	構造	S-041	病院棟のスラブリストについて、フラットデッキの図示がありますが、片持ちスラブ以外は全てフラットデッキと考えて宜しいですか。	上記回答(質疑29)に準じます。
157	構造	ST-001 ST-002	擁壁のコンクリート強度が、一般共通事項と構造特記仕様書で下記のように相違があります。構造特記仕様書を正と考えて宜しいですか。 ・構造特記仕様書:FC36 ・一般共通事項:FC30	上記回答(質疑45)に準じます。
158	構造	-	設備基礎のコンクリート強度及びスランプ値が不明です。FC24、S18と考えて宜しいですか。	よろしいです。
159	構造	ST-002 A-202	ヘリポート鉄骨部材リストにおいて、柱脚のコンクリート強度がFC30とありますが、構造特記仕様書では3F立上りからはFC24と記載があり、相違があります。構造特記仕様書を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
160	構造	S-005 S-006 S-007	改良天端レベルが、地盤改良工図と基礎伏図で多数相違があります。基礎伏図を正と考えて宜しいですか。 例) ・地盤改良工図杭種B-1:TP+46.1 ・基礎伏図:TP+45.85 (基礎捨てコン下端レベル(改良天端レベル)=MB1FL-2,050=TP+45.85)	よろしいです。
161	構造	-	上記質疑が正の場合、改良下端レベルに変更は無しと考えて宜しいですか。	よろしいです。
162	構造	S-010 S-011 A-027 A-028 A-031	1F、2Fの外部RC壁の有無が、構造伏図ではRC壁無し、立面図及び矩計図ではRC壁有りとの相違があります。意匠平面図を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
163	構造	-	上記質疑を正とした場合、RC壁の符号が不明です。御指示下さい。	W18:壁厚180、縦筋D13@200ダブル、横筋D13@200ダブルとします。
164	構造	S-010	1F伏図において、EW25の記載がありますが、リストが不明です。御指示下さい。	上記回答(質疑8)に準じます。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
165	構造	-	RC壁の開口補強筋の有無が不明です。必要な場合、補強要領を御指示下さい。	下記の通りとします。 EW20:縦・横筋各4-D16、斜め筋2-D13 EW25:縦・横筋各4-D19、斜め筋4-D13 EW30:縦・横筋各8-D19、斜め筋4-D16
166	構造	ST-002	人通孔及び梁貫通孔の補強要領について、構造特記仕様書のその他配筋にH型と既製品の両方に適用印がありますが、何れを適用するか不明です。既製品補強と考えて宜しいですか。また、既製品を使用する場合、メーカー等の指定があれば合わせて御指示下さい。	よろしいです。採用する補強工法は大臣評定取得品とします。
167	構造	-	上記、在来補強の場合、補強要領が不明です。径毎の補強要領を御指示下さい。	上記回答(質疑166)に準じます。
168	構造	A-177 ~189	エレベーター立柱について、柱脚、継手詳細が不明です。エレベーター立柱の柱脚、継手詳細は下記のように考えて宜しいですか。 ・H-250×250×9×14 ①ベースプレート:PL-19×300×300 ②アンカーボルト:4-M20 L400 ③継手:GPL:PL-12、HTB 3-M20  ・H-200×200×8×12 ④ベースプレート:PL-19×250×250 ⑤アンカーボルト:4-M20 L400 ⑥継手:GPL:PL-9、HTB 3-M20  ・H-175×175×7.5×11 ⑦ベースプレート:PL-16×225×225 ⑧アンカーボルト:4-M20 L400 ⑨継手:GPL:PL-9、HTB 2-M20  ・H-150×150×7×10 ⑩ベースプレート:PL-16×200×200 ⑪アンカーボルト:4-M20 L400 ⑫継手:GPL:PL-9、HTB 2-M20  ・H-100×100×6×8 ⑬ベースプレート:PL-16×150×150 ⑭アンカーボルト:4-M20 L400 ⑮継手:GPL:PL-9、HTB 2-M20	上記回答(質疑84)に準じます。
169	構造	A-177 ~189 S-009~ 015	エレベーター廻りの鉄骨部材について、意匠図と構造図で相違があります。エレベーター廻りの鉄骨部材は下記のように考えて宜しいですか。 ①構造図、意匠図両方に記載がある鉄骨部材は構造図を正 ②構造図に記載が無く、意匠図に記載がある鉄骨部材は、追加で見込む	よろしいです。
170	構造	S-009~ 015	鉄骨小梁の天端レベルについて、鉄骨小梁の天端レベルはスラブ下端レベルに合わせると考えて宜しいですか。	よろしいです。
171	構造	S-034	鉄骨柱の柱脚部について、アンカーボルトの長さが不明です。L=20dと考えると宜しいですか。	S-035図 SRC柱柱脚納まり要領図によります。ただし、柱脚部の仕様は実施設計において精査の上、決定します。
172	構造	ST-012	鉄骨構造標準図(4)(8)バンドプレートの記載がありますが、SRC柱リストには記載がありません。SRC組立柱にバンドプレートを下記のように見込むと考えると宜しいですか。 ①バンドプレート:PL-6×50@800	よろしいです。
173	構造	ST-010	4階以上の大梁について、ノンブラケット工法の指示がありますが、ノンブラケットの継手が不明です。ブラケット工法のウェブ継手と同じと考えて宜しいですか。	ST-010図 5.仕口/5-1仕口部詳細/(4)大梁継手/1)ノンブラケットタイプによります。 ボルトは仮設用です。ボルトは請負者の責任において、建て方時の安全性を考慮して十分な強度を有した仕様として見込んでください。
174	構造	-	上記質疑について、異なる場合は継手リストを御指示下さい。	上記回答(質疑173)に準じます。

質疑番号	区分	図面番号	質問	回答
175	構造	S-015	R階+6, 000伏図にCSGY6の記載がありますが、部材リストが不明です。下記のように考えて宜しいですか。 ①SH-550×250×9×22(SN490B)	SH-550×250×9×22(SN400B)とします。 また、SGY6の材質はSN400Bとします。
176	構造	S-041 S-101	院内保育所棟のスラブリストについて、符号DS15の詳細が不明です。病院棟のフラットデッキに倣うと考えて宜しいですか。	上記回答(質疑89)に準じます。
177	構造	S-101 A-302	院内保育所棟の各スパン長が構造伏図と意匠平面図とで相違があります。意匠平面図を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
178	構造	S-101	院内保育所棟のコンクリートスラブ値が不明です。S18と考えて宜しいですか。	上記回答(質疑88)に準じます。
179	構造	-	院内保育所棟において、高性能AE減水剤の適用の有無が不明です。不要と考えて宜しいですか。	よろしいです。
180	構造	ST-008	院内保育所棟の地中梁天端増し打ちの補強要領は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)の7-1増打補強によると考えて宜しいですか。	よろしいです。
181	構造	-	院内保育所棟の地中梁及び基礎柱主筋の継手工法はガス圧接と考えて宜しいですか。	よろしいです。
182	構造	S-101 A-303 A-304	院内保育所棟の底下部のスラブが構造図に記載が無く詳細が不明です。下記と考えて宜しいですか。 土間コンクリートT150、FC18 S15、捨てコン無し砕石T150、D10@250シングル	上記回答(質疑94)に準じます。
183	構造	S-101 A-303	院内保育所棟の地中大梁について、構造図では耐圧版下まで地中大梁がありますが、意匠では浮梁となっています。構造図を正と考えて宜しいですか。	よろしいです。
184	構造	-	上記、構造図を正とした場合、人通孔・通水管・通気管の有無が不明です。必要な場合は、各々の数量・断面寸法を御指示下さい。	上記回答(質疑90)に準じます。
185	構造	S-101	院内保育所棟の人通孔の補強要領について、構造図に在来鉄筋補強要領の記載がありますが、院内保育所棟においては在来鉄筋補強を適用すると考えて宜しいですか。	上記回答(質疑91)に準じます。
186	構造	-	上記、人通孔以外の梁貫通孔の補強要領が不明です。人通孔同様在来鉄筋補強の場合は、補強要領を御指示下さい。	上記回答(質疑166)に準じます。
187	構造	A-307	玄関キャノピー詳細図について、鉄骨部材の図示がありますが、構造図が無いため鉄骨部材詳細が不明です。下記の鉄骨部材詳細(断面、継手、RC取合いなど)及び部材配置を御指示下さい。 ①柱、梁などの本体鉄骨 ②金属屋根母屋鉄骨 ③幕板・軒天下地鉄骨	上記回答(質疑96)に準じます。
188	構造	-	玄関キャノピーの構造図がありません。構造図を御提示ください。	上記回答(質疑187)に準じます。
189	構造	ST-002 S-044	鉄骨階段踏面の溶接金網の仕様が下記のように異なります。鉄骨階段詳細図を正と考えて宜しいですか。 ・特記仕様書: φ6-100×100 ・鉄骨階段詳細図: φ6-50×50	よろしいです。
190	構造	01_基本 設計説明書(構造技術資料編) S06	S06免震システム性能試験概要で、表内実施時期に記載の2021年4月予定とあるものは、既にその試験対応が開発者・メーカーほかで進められており、受注者に求められる試験は、試験No11~14及び技術提案での試験のみと考えてよろしいか。	よろしいです。 なお、試験No11は、静的試験として、メーカーの試験機にて2021年9月頃までに実施を予定しています。この試験の目的は、レベル2相当の地震動時にPSBが滑り出さないことを確認することですが、試験No12の振動台を用いた動的試験においても、同様の確認を行いたいと考えています。